

# 黒部で第九を歌う会 スプリングコンサート2019

2019.4.21 SUN

[会場] 黒部市国際文化センター コラーレ (カーターホール)

## Program

### [第1部]

曲 目：モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲第14番ト長調K.387「春」

指 揮：横島 勝人

室内楽：宇奈月カルテット

バイオリン：青山 英里香 / 久保 静

ピ オ ラ：中村 響子

チェロ：松井 洋之

### [第2部]

曲 目：ブラームス作曲 ドイツ・レクイエム 全曲 (室内楽版)

指 揮：横島 勝人

ソリスト：平井 香織 (ソプラノ) / 与那城 敬 (バリトン)

室内楽：宇奈月カルテット

バイオリン：青山 英里香 / 久保 静

ピ オ ラ：中村 響子

チェロ：松井 洋之

ティンパニ：横山 睦

ピアノ：間部 栄司

合 唱：黒部で第九を歌う会合唱団 / 合唱指導：三井 香

[主催] 黒部で第九を歌う会・嶺北日本新聞社・(公財)黒部市国際文化センター

[共催] 黒部市 [後援] 黒部市教育委員会・黒部市芸術文化協会

黒部で第九を歌う会事務局 黒部市三日市20 黒部市国際文化センター コラーレ内 Tel.0765-57-1201  
ホームページ <https://kurobedaikujimdofree.com>

## Program note : 曲目紹介

### 第1部 モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲第14番ト長調K387番「春」

この曲は1782年、モーツァルト26歳の作品です。モーツァルトは生涯に23曲の弦楽四重奏曲を作曲しました。この第14番は、尊敬するハイドンに捧げた六つの弦楽四重奏曲「ハイドン・セット」のうちの第1曲です。この曲から続く作品群は、モーツァルトがそれまでに

作曲した弦楽四重奏曲よりも曲の規模が大きくなっていて、モーツァルトが作曲技術の粋を凝らして完成した力作です。ハイドン宛の献辞に「長くつらい労苦の結実」と書いています。明るくて親しみやすい、春の息吹を感じさせる魅惑的な1曲です。どうぞお楽しみください。

### 第2部 ブラームス作曲 ドイツ・レクイエム 作品45

ブラームスの「ドイツ・レクイエム」は1868年、ブラームス35歳の作品です。初演で大成功を収め、これがブラームスの出世作となりました。ルター訳の聖書からブラームス自身が選んだドイツ語の歌詞です。教会

で歌う音楽でなく、演奏会用に作曲された曲です。宗教的音楽というよりも現代に生きている人を慰め励ますいわば人生の指針を示す音楽とも言えます。そのような意味のある大曲の合唱をお楽しみください。

#### ブラームスの略伝

ヨハネス・ブラームス（1833年—1897年）はドイツ・ハンブルグの貧しい音楽家の家庭に生まれました。ベートーベンが亡くなった6年後です。父から音楽の手ほどきを受け早くから楽才を示し10歳でピアニストデビューしました。しかし20歳ごろまでは不遇で音楽家として無名でした。20歳の1853年9月にローベルト、クララ・シューマン夫妻との運命的出会いがありました。そこでシューマンがブラームスの卓越した音楽的才能を見抜き、『音楽新報』誌で紹介してくれました。それがきっかけになってブラームスはヨーロッパ中で一躍時の人となり著名音楽家になりました。そのシューマンが3年後に急死し、その後ブラームスは「レクイエム」の創作を

始めたのですがなかなか進まなくて、完成したのは12年後の1868年、35歳の年でした。

ブラームスは人づきあいが下手で、潔癖性で、作曲後も不満足な曲は廃棄してしまったので、若いころの作品は残っていません。しかし勉強家でよく研究もし、ハイドン、モーツァルト、ベートーベンを尊敬し研究し尽くしていました。若いころは合唱団の指揮もしていて、合唱曲の作品も多い。またベートーベンの第九のようなテンションの高い音楽も知り尽くしていました。

ブラームスは19世紀後半のロマン主義を代表する作曲家のひとりですが、同時に古典主義的な形式を重視するドイツ音楽の伝統の継承者とされています。

#### レクイエムとは

「レクイエム Requiem」（ラテン語）は「安息を」という意味です。一般的にはカトリック教会で死者の安息を神に祈る曲で、歌詞はラテン語の祈祷文であり、決められた詞に曲をつけます。モーツァルト、フォーレ、ベルディのレクイエムがよく知られています。

「鎮魂曲」と日本語訳されることがありましたが、レクイエムに「鎮魂」の意味はないため不適切な訳語とされ、現在は単に「レクイエム」、「死者のためのミサ曲」などと訳されています。（T.S）

## ドイツ・レクイエム 対訳

- 1 Selig sind, die da Leid tragen,  
denn sie sollen getröstet werden.

Die mit Tränen säen,  
werden mit Freuden ernten.  
Sie gehen hin und weinen  
und tragen edlen Samen,  
und kommen mit Freuden  
und bringen ihre Garben.

- 2 Denn alles Fleisch es ist wie Gras  
und alle Herrlichkeit des Menschen  
wie des Grases Blumen.  
Das Gras ist verdorret  
und die Blume abgefallen.

So seid nun geduldig, lieben Brüder,  
bis auf die Zukunft des Herrn.  
Siehe ein Ackermann wartet  
auf die köstliche Frucht der Erde  
und ist geduldig darüber,  
bis er empfahe den Morgenregen und Abendregen.

Aber des Herrn Wort bleibt in Ewigkeit.

Die Erlöseten des Herrn werden wieder kommen  
und gen Zion kommen mit Jauchzen;  
ewige Freude wird über ihrem Haupte sein;  
Freude und Wonne werden sie ergreifen  
und Schmerz und Seufzen wird weg müssen.

- 3 Herr, lehre doch mich,  
daß ein Ende mit mir haben muß,  
und mein Leben ein Ziel hat,  
und ich davon muß.  
Siehe, meine Tage sind einer Hand breit vor dir,

und mein Leben ist wie nichts vor dir.  
Ach, wie gar nichts sind alle Menschen,  
die doch so sicher leben.  
Sie gehen daher wie ein Schemen,  
und machen ihnen viel vergebliche Unruhe;  
sie sammeln und wissen nicht,  
wer es kriegen wird.  
Nun Herr, wes soll ich mich trösten?  
Ich hoffe auf dich.

Der Gerechten Seelen sind in Gottes Hand  
und keine Qual rühret sie an.

祝福されたるは、悲しみを負うひと、  
彼らは慰められるのですから。

(マタイ福音書 5:4)

涙とともに種を播くひとは、  
喜びとともに穫りいれるでしょう。  
彼らは出でゆき、そして涙し  
そして大切な種を負いゆき、  
そして喜びとともに戻り  
そして実りの束を携えてきます。

(詩篇 126-5,6)

人はみな草のごとく  
人間の光栄はみな  
草の花のごとし。  
草は枯れ  
花は散る。

(第一ペテロ書簡 1:24)

だから今は耐え忍びなさい、愛しい兄弟よ、  
主の来たるその時まで。  
ごらんなさい、農夫は待っています  
大地の尊い実りを  
そして耐え忍んでいます、その上に、  
朝の雨と夕べの雨を迎えるまで。

(ヤコブ書簡 5:7)

しかし主の言葉は残る、永遠に。

(第一ペテロ書簡 1:25)

主に救われた人々はふたたび戻り  
シオンへと歎呼の声とともに来たらん；  
永遠の喜びを頭上にいただき；  
喜びと歎息をつかみとり  
そして苦悩と嘆息は消え去らん、必ずや。

(イザヤ書 35:10)

主よ、知らしめたまえ、  
終わりの定めあること、  
わが命の限りあること、  
そこから去らねばならぬことを。  
見よ、わが日は一掌に過ぎぬ、あなたの前では、

そして、わが命は空にひとしい、あなたの前では。  
ああ、なんと空しいことか、全ての人は、  
確かに生きているとしても。  
さまようこと影のように、  
そして無意味なことに騒ぐ；  
集め蓄えるけれども、知らないのだ、  
誰の手にそれが収まるのかを。  
では主よ、何をわが慰めとすれば？  
わが望みは、あなたにある。

(詩篇 39:4-7)

正しいものの魂は神の手にあり  
そしていかなる苦痛も届くことはない。

(知恵の書 3:1)

- 4 Wie lieblich sind deine Wohnungen,  
Herr Zebaoth!  
Meine Seele verlangt und sehnet sich  
nach den Vorhöfen des Herrn;  
mein Leib und Seele freuen sich  
in dem lebendigen Gott.  
Wohl denen, die in deinem Hause wohnen,  
die loben dich immerdar.
- 5 Ihr habt nun Traurigkeit;  
aber ich will euch wieder sehen  
und euer Herz soll sich freuen,  
und eure Freude soll niemand von euch nehmen.
- Sehet mich an:  
Ich habe eine kleine Zeit  
Mühe und Arbeit gehabt  
und habe großen Trost funden.
- Ich will euch trösten,  
wie einen seine Mutter tröstet.
- 6 Denn wir haben hie keine bleibende Statt,  
sondern die zukünftige suchen wir.
- Siehe, ich sage euch ein Geheimnis:  
Wir werden nicht alle entschlafen,  
wir werden aber alle verwandelt werden;
- und dasselbige plötzlich, in einem Augenblick,  
zu der Zeit der letzten Posaune.  
Denn es wird die Posaune schallen,  
und die Toten werden auferstehen unverweslich  
und wir werden verwandelt werden.
- Dann wird erfüllt werden das Wort, das geschrieben steht:  
Der Tod ist verschlungen in den Sieg.  
Tod, wo ist dein Stachel?  
Hölle, wo ist dein Sieg?
- Herr, du bist würdig  
zu nehmen Preis und Ehre und Kraft,  
denn du hast alle Dinge erschaffen,  
und durch deinen Willen haben sie das Wesen  
und sind geschaffen.
- 7 Selig sind die Toten,  
die in dem Herrn sterben, von nun an.  
Ja, der Geist spricht,  
daß sie ruhen von ihrer Arbeit;  
denn ihre Werke folgen ihnen nach.
- なんと愛しいことでしょう、あなたの住まいは、  
万軍の主よ！  
わたしの魂は切に求め憧れます  
主の前庭を；  
わたしの身そして魂は喜びを覚えます  
生ける神の前にあつて。  
幸いなるひとよ、あなたの家に住むひと、  
あなたを常に讃えるひと。
- (詩篇84:1/2/4)
- あなた方は、今は悲しんでいます；  
けれども、私はあなた方と再会しましょう  
そのとき、あなた方の心は喜び、  
その喜びは何ものにも奪われません。
- (ヨハネ福音書 16:22)
- 私を見なさい、  
私はわずかの間の  
ほねおり労苦で  
大いなる慰めを見出しました。
- (ベンシラの知恵 51:35)
- あなた方を慰めましょう、  
母がその子を慰めるように。
- (イザヤ書 66:13)
- われらここに永遠の地をもたず、  
しかるに、未来のものを求めねばなり。
- (ヘブライ書簡 13:14)
- 見よ、あなた方に奥義を話しておく：  
われらは全てが眠るのではない、  
われらはしかし全て変えられる；
- (第一コリントス書簡 15:51)
- 突然、瞬間に、  
最後のラッパの時に。  
すなわち、ラッパが鳴り響き、  
死者はよみがえり朽ちぬ者となり  
われらは変えられるのだ。
- (第一コリントス書簡 15:52)
- そのとき、書かれてある言葉が実現する：  
死は呑みこまれてしまう、勝利のなかに。  
死よ、どこにあるのだ、おまえの棘は？  
地獄よ、どこにあるのだ、おまえの勝利は？
- (第一コリントス書簡 15:54/55)
- 主よ、あなたこそふさわしい方  
賛美と誉れと力を受け取るのに、  
なぜなら、あなたは万物をつくりだしたのであり、  
またあなたの意によってそれらは存在し  
つくられたのですから。
- (ヨハネ黙示録 4:11)
- 祝福されたるは、死者、  
主のうちにあつて死ぬひと、これよりのちに。  
そうだ、と精霊は言います、  
かれらは労苦から解き放たれる；  
かれらの成したことは後ろについてくるのだから。
- ヨハネ黙示録 14:13)

皆様のあたたかいご支援により、スプリングコンサート2019を開催することができました。

〔協賛〕 ㈱植万・川端鐵工㈱・きょうクリニック・共和土木㈱・黒部クリーン㈱  
桜井建設㈱・ダイヤテックス㈱・中西グループ協同組合・北星ゴム工業㈱・YKK㈱